

明言 深聞

本音を探る

ずばり答える

イスラム教徒の多い東南アジア諸国連合(ASEAN)市場の経済成長に伴い、イスラム教の戒律を守っていることを証明するハラール認証の取得を目指す動きが県内でも広がっている。巨大なイスラム市場を取り込むには、県内企業はどのような手を打つべきか。ハラール認証取得支援などを手掛けるマレーシアハラールコーポレーション(MHC)のアクマル・アブ・ハッサン代表に聞いた。

(聞き手＝政経部・照屋剛志)

「ハラール認証取得の動きが広がっている。」

「ハラール認証は、豚やアルコールの摂食を禁じるイスラム教の戒律に沿っていることを保証する制度。イスラム教徒にとって、海外の商品には何が使わ

マレーシアハラールコーポレーション代表

アクマル・アブ・ハッサン氏



アクマル・アブ・ハッサン 1970年、マレーシア生まれ。群馬大を卒業後、94年に東京三菱銀行(当時)入行。97年にマレーシア経済産業省に入省し、同国貿易開発公社勤務などを経て、2010年にMHCを設立し現職。同社は国内企業約200社にハラール認証取得やイスラム市場展開などを支援している。

沖縄の健康長寿は魅力

れているか分からないことが多い。ハラール認証があることを安心して購入できる」

「ただ、ハラール認証はイスラム市場へのパスポートのようなもの。認証を取得したからといって、イスラム市場で商品が売れるとは限らない。日本企業は認証取得が目的化していることが多い。まずはイスラム市場へ打って出るべきだ。マーケットを見て、認証が必要なら取れ

ばいい。認証取得が目的化する。成功している海外企業は「イスラム市場へはどのような展開すればいいか。」

「ASEANは富裕層と中間層にも市場を広げたければ取得する。成功している海外企業は「沖繩の可能性は。」

「マレーシアの首都クアラルンプールの人口は華僑が4割を占める。ハラール認証がなくても販売はできる。500店舗ありとされるレストランで認証を取っているのは1割程度。まずは事業を展開してノウハウを積んだ上で、厳格なイスラム教

「ASEANは富裕層と中間層にも市場を広げたければ取得する。成功している海外企業は「沖繩の可能性は。」

「ASEANは富裕層と中間層にも市場を広げたければ取得する。成功している海外企業は「沖繩の可能性は。」

「イスラム教徒の人口は16億人とされ、世界の4分の1を占める。平均年齢も若く、今後も拡大するマーケットだ。ただ、沖繩はほとんど知られていない。まずはアンテナショップを出して、沖繩の物産や観光をPRする必要が。行政の協力も必要になると思うが、認知度向上が先決だ。MHCは昨年12月、琉球銀行と業務提携を交わした。やる気のある県内企業を応援していきたい」

「日本企業に必要なのは、売り方を知らない企業が多い。昔はソニー、パナソニック、J-POPをみんな知っていたが、今ではIG、サムスン、K-POPに取って代わられた。物はいいのだから、スピード感を持って、前向きに売り込んでほしい」